

視点

View Point

たま だし
玉井 直 氏

長野県信用保証協会会長

長野県信用保証協会は、事業者の皆様が資金を調達する際に公的な保証人となることで、中小企業金融の円滑化を図っています。今後は、昨今のエネルギー価格や原材料費の高騰、人手不足等課題を抱える企業の皆様に寄り添いながら、資金繰り支援に加え特に経営改善、再生支援に力を入れていきます。私たちが目指すのは、地域のお客さまの未来をつなぐ、信頼され顔の見える保証協会です。

地域のお客さまの未来をつなぐ、信頼され顔の見える保証協会に



PROFILE
1963年生まれ。1988年長野県職員採用。人事委員会事務局長、総務部長を歴任し、2024年4月より現職。

コロナ後も経営が改善していない企業が多い

長野県内の経済状況、中小企業の抱える課題についてどうご覧になっていますか。
玉井 コロナが5類に移行した昨年5月から1年半余りが過ぎ、日常の生活行動もコロナ前に戻って、飲食や宿泊等の消費活動がだいぶ回復してきました。インバウンドも好調ですし、業績が改善されている企業もみられます。
一方、エネルギーや原材料価格の高騰が収まらず、加えて賃金アップも収益に影響を与えています。さらに人手不足が昨今問題視されるなど、中小企業の事業環境は総じて引き続き厳しいとみています。

当協会においても、返済条件を緩和してほしいとの申し入れに対応した保証債務残高や私どもが代位弁済を行う企業数が増えていますので、コロナ禍は乗り越えたものの、経営が改善していない企業が多いことは数字も表しています。
中小企業が抱える課題としては、足下のコスト上昇を価格に十分に転嫁できないこと、人手不

足、少子化に伴う国内市場の縮小、経営者の高齢化、後継者不足が挙げられます。これまでの経営方法では現状を打開できないこともあり、時代とニーズの変化をどう捉えるかも課題です。

当協会としても、改善により生産性向上や競合との差別化を図り、あるいは事業を再構築して成長が見込まれる新分野へ挑もうとする企業への支援が重要であると認識しています。

これから注力するのは経営改善、再生支援

今後の中小企業支援の方向性について、もう少し詳しく教えてください。

玉井 協会を挙げて、個々の事業者の経営課題をしっかりと把握することが支援の前提です。そのうえで各々の経営状況に応じたきめ細かな対応をします。取り組みは2つあり、まず資金繰り支援については、会社の創業期、成長期、承継期等ライフステージに合わせた保証メニューを取りそろえ、また創業時、事業承継時に**経営者保証を不要とする保証も取り扱うなど事業者ごとに最適なものを提案しています。**

もうひとつ重要なのは経営改善、再生支援で

中小企業と金融機関を結び「かけ橋」

信用保証協会の役割や業務内容について教えてください。

玉井 中小企業の皆様が事業経営に必要な資金を調達するとき、信用保証協会が公的な保証人となり信用力を補完することで、借入れがスムーズに進むこと、つまり**中小企業の金融の円滑化が私たちの役割です。中小企業と金融機関を結びつける「かけ橋」として**、埋もれている信用力を発掘し、中小企業の発展、ひいては地域経済の発展に寄与してまいります。事業者の皆様には、県内8カ所ある営業店へお気軽にお立ち寄りいただきご相談ください。

たとえば、ゼロゼロ融資をはじめ新型コロナウイルス感染症の影響を被られた中小企業に対して行った保証は、令和2年度において5400億円に上り、コロナ前の平均的な年間保証額の3倍以上となりました。多くの中小企業の皆様があの危機を乗り越えられたのは、こうした融資を得たことがひとつの要因ではなかったかと考えています。

ちなみに当協会の保証債務残高は、全国47都道府県に51ある信用保証協会の中で15位です。一方、保証利用者数は約3万5千社に及び、これは県内中小企業の約2分の1にあたる約53%に相当しその率は全国4位、また1件あたりの保証金額は約890万円で全国51位となっています。多くの企業の皆様に当協会の保証をお役立ていただいている状況は、**長野商工会議所様はじめ経済団体や金融機関の皆様との連携によるものであり、私たちが果たすべき役割に適った当協会の特徴であると理解しています。**

令和4年度より資金繰りと経営支援の一体的な取り組みを強化すべく企業支援部を新設し、企業支援が点から線となるよう、継続的に事業者とかわる取り組みを始めました。事業者を訪問して、皆様が本当にお困りのポイントを把握したうえで経営改善に役立つ専門家派遣や改善計画策定費用の補助等のツールを提供し、経営支援のアドバイスを行うことで、経営改善支援の効果検証を3年にわたり行っていきます。**訪問支援の取り組みは令和5年度には1680社で実施し、中小企業診断士等経営サポートの専門家を派遣した数は170社あり、経営改善計画をおつくりいただいた企業も101社を数えました。**

事業者の経営自体を改善していくこうした支援に今後も注力しますが、当協会だけでは取り組みに限界があります。長野商工会議所様はじめ経済団体、金融機関、専門家や長野県中小企業活性化協議会、長野県事業承継・引継ぎ支援センターの皆様方と、これまで以上の連携が欠かせません。**引き続き皆様のお力をお借りしながら、事業者に寄り添い、きめ細かな支援に努めてまいります。**

DATA
長野県信用保証協会
[設立] 1949年3月28日
[所在地] 長野市の本店、松本、上田、飯田、諏訪、佐久、伊那、中野に営業店をおく
[保証債務残高] 6,487億円
[利用企業者] 35,460企業 (県内中小企業の53%が利用)

横顔

長野市出身。趣味は野球やサッカーの観戦。平日の夜は奥様とウォーキングに励み、せつかく長野に暮らすのだからと今年から山登りも始めた。